


優郷の学び舎

# 松丘

学校だより No.10  
令和7年1月31日  
世田谷区立松丘小学校  
校長 臼井 潤一  
03(3429)4278



世田谷区立松丘小学校で検索  
携帯サイトはQRコードから

題字: 寺子屋 COSMOS でご協力いただいている、書道家 川口青澄先生にお書きいただきました。

## 「寒さに負けず」

副校長 来栖 雅彦

今は、1年中で一番寒い時期になるのですが、連日温かい日が続き、朝から校庭で汗をかきながら遊んでいる元気な姿を見えています。松丘小学校では短縄朝会をきっかけに、体育の授業や、休み時間に縄跳びを取り組んでいます。縄跳びは縄1本で、いろいろなリズムで跳んだり、難易度の違う技に挑戦したりすることができるので、体力向上にとっても適した運動です。

私は、子どもたちが一所懸命に跳び続ける姿がとても好きです。できなかった技ができるようになった瞬間の笑顔や、得意技を楽しそうに跳び続ける姿は本当に微笑ましく感じます。実は、私自身子どものころ、縄跳びはあまり得意ではなく、あまり好きではなかったのですが、とても上手な友達の跳ぶ姿に魅了され、それをきっかけに必死になって練習をしました。そこで感じたことは、縄跳びは練習を積むと、その練習量に合わせて上達を感じやすい運動だということです。当時、一緒に練習した友達とそのことについて話題にしたことを今でも覚えていますし、跳び続けるリズム感覚は今でも忘れていません。そしてついに私が教員になったときには、一番苦手だった運動が一番得意になっていました。今ではとてもできませんが、空中で3回旋、4回旋と跳べるようになったことは、大きな自信となっています。

私の経験上、最初に苦手だと思ったことを続けられるようになると、自分でも驚くような大きな成果のお土産が待っていることがあります。でもそこには大きな壁が最初にあるので、「こんなことは無理だな」とか「これは自分には向いていないな」と捉え、続けるのをやめてしまうことの方が多いかもしれません。しかし、その壁をやぶるきっかけになるのは、一緒に取り組んでいる友達の存在が欠かせないと私は思っております。自分の身近にいい刺激をたくさん与えてくれる友達が松丘小学校にはたくさんいます。お互いに切磋琢磨して向上し合える仲間づくりができるよう支援してまいります。

本校は今年度、感染症にかかっている子どもが大変少なかったのですが、引き続きご家庭でも感染症対策に取り組んでいただき、元気に毎日登校できるよう体調管理をよろしくお願いいたします。

## 「たてわり班活動」

特別活動部たてわり班活動担当

たてわり班活動は、異学年の児童との交流を通して、思いやりの心や好ましい人間関係を築く力や社会性を培うことをねらいとして行っています。

班全体を見渡して、下級生のことを考えながらみんなが楽しめる活動を考え実行する高学年。活動内容を理解して、みんなで仲良く活動できるようにする中学年。高学年の話を聞き、楽しんで活動に参加する低学年。それぞれの学年がめあてをもって活動に取り組んでいます。特に高学年は6年生の班長を中心に5年生の副班長と相談をしながら、班員みんなが楽しめるようハンカチ落としやだるまさんが転んだ、風船バレーなど場所に合わせて様々な遊びを企画しています。班の友達と名前を呼び合ったり、仲を深めたりできるよう、たくさんの工夫が詰まっていることがたてわり班活動の魅力です。日常でも、校舎内で同じ班の仲間を見つけて声をかけ合う子どもたちの姿が見られ、たてわり班活動を通して異学年の友達ができる喜びに繋がっています。

2学期までは6年生を中心に活動をしていましたが、3学期1月のたてわりカルタ会から5年生の副班長に仕事を引き継ぎました。6年生のサポートを受けながら、どのように運営したらよいかを考えながら実行しました。次の松丘小学校を引っ張っていく最上級生として、自分たちで班を盛り上げていけるように取り組んでいます。